

タスクフォース活動報告

北海道農政事務所 <現地ヒアリング5か所>

【資料 1－4－1】

都道府県	情報収集した相手先	品目	4月以降の物流の状況	生じている課題	左記の対応策等
北海道	生産者団体等	米、野菜	・輸送体制に大きな変化はなく、運送会社からの要望等も特に挙がってはいない。規制後の状況は今のところ問題ない。 ・4月以降、前日荷積み（夜積み）の依頼が増えていいる。<u>夜積みにより、トラックの待ち時間が短縮、運送会社の負担も軽減</u>されている。	・現在はスムーズに運送できているが、<u>運送会社が9月～10月の最盛期を乗り切れるかどうか不安</u>を感じている。 ・ドライバーの年齢層は50代以上が中心であり、<u>ドライバーの高齢化の問題</u>は解消されていない。 ・米は夏場の低温倉庫から出庫するとフレコンが汗をかいてしまい、品質低下の危険性がある。 ・11型の標準パレットを推進していくためには、標準パレットに合わせた施設改修の必要がある。	・最盛期に夜積み（前日積み）で対応も検討。 ・物流2024問題が話題となった昨年度から新しい<u>ドライバーが増えた。女性ドライバーの雇用も増えてきている</u>ようである。 ・ゆっくりと常温に戻してから出庫している。（低温式トラックを利用できればいいが運賃が高額）
北海道	生産者団体等	野菜	・変更点はなく、運送会社からの要望もない。 ・上限規制に伴い、荷役時間の増減によって複数カ所降ろしが困難なケースが生じている。	・現在はスムーズに運送できているが、<u>運送会社が9月～10月の最盛期を乗り切れるかどうか不安</u>を感じている。 ・馬鈴薯はJ R コンテナで主に出荷しているが、大型連休等の場合、半月程取扱いできない場合がある。また、一般的な<u>鉄道輸送用コンテナは、予冷が弱く、鮮度品質の面で利用出来る農作物が限られる</u>。 ・レンタルパレットの利用性向上を求める意見のほか、<u>回収率や回転率向上のため、業界全体で工夫する必要がある</u>。	・主要な産品（馬鈴薯、人参、大根）については既に11型パレットを利用。 ・小ロットの品目は<u>混載便で対応</u>している（将来的に混載便が組めるか危惧） ・鉄道輸送用コンテナでパレットを利用する場合、<u>隙間をバラ積みで埋めて、揺れ等による荷崩れ防止</u>を図っている。 ・4月以降に限った話ではないが、運賃が徐々に上がっており、相談・交渉に応じる方向で検討。
北海道	生産者団体等	花き	・関東、関西への出荷時、3カ所降ろしが可能だったが、トラック待機時間の関係上、3カ所目が厳しいところも出てきている。	・現在はスムーズに運送できているが、<u>運送会社が9月～10月の最盛期を乗り切れるかどうか不安</u>を感じている。 ・パレット化した場合、花の長さの規格を変更しなくてはならない可能性があり、サイズ変更は価格に影響が出てくるため進まない状況。 ・花き生産者の平均年齢が61歳となっており、生産出荷量の低下。高齢化、担い手不足を懸念している。	・複数の生産者団体が連携し、混載にする工夫を行っている。 ・繁忙期にトラック輸送の不安があることから、飛行機輸送を増やしていきたい。（到着までの日数が短いメリットもあり）
北海道	生産者団体等	野菜（大根、スイートコーン、ばれいしょ）	・変更点はなく、運送会社からの要望もない。	・鉄道輸送用コンテナは予冷が弱く、ドライアイスを使用しなければならない。ドライアイス代も上昇している。また、天候によって運休や足止めが発生すると、<u>鮮度が落ちて商品にならないなど不安定</u>。 ・コスト面から<u>施設改修、設備投資等ができないのでパレット化が困難</u>。	・生産者団体本部が対応できない地域への輸送については、なるべく安くなるように生産者団体で運送会社の選択を工夫。 ・耐久性に課題があったが、現在は段ボールパレットの導入を検討中。 ・生産者団体組合から提示される運賃単価や燃料費が5～10%程度上昇しており、相談・交渉に応じる方向で検討。
北海道	運送業	野菜	・協力運送会社からの値上げの要望があり、荷主（生産者団体）に値上げ交渉中。 ・以前まで荷積み作業をドライバーにお願いしていたが、自社社員で行うように改善したことで、荷積み待ちが解消。（令和6年3月から）	・ドライバーだけでなく、荷役作業員も人手不足、高齢化が進んでいる。労働時間が短くなることで、給料が下がることを問題視しているドライバーが多い。 ・<u>着荷主側にも荷待ち時間など改善してほしいが、声が届かない</u>。	・運賃の値上げについては、協力運送会社から要望が来ており、高速代を含めた運賃交渉の予定。

東北農政局管内における生産者団体の物流問題の課題と取組状況（令和 6 年 4 ～ 5 月）

〔ポイント〕

- ・各産地（生産者団体）では、主要品目を中心に既に集荷場所の集約、パレット化、中継輸送、出荷先市場の絞り込みなどの取組を実施。
- ・この間の取組により 4 月以降に出荷ができない状況にはないものの、出荷が本格化する夏場以降への対応を更に進めている。
- ・運送事業者等からの運送費の値上げの要請や荷役の分離などに応じているが、一部から 上昇した運送費や生産者団体側が行う荷役に係る経費を価格に転嫁できず産地の負担増との声。

○県域の主な動き・状況

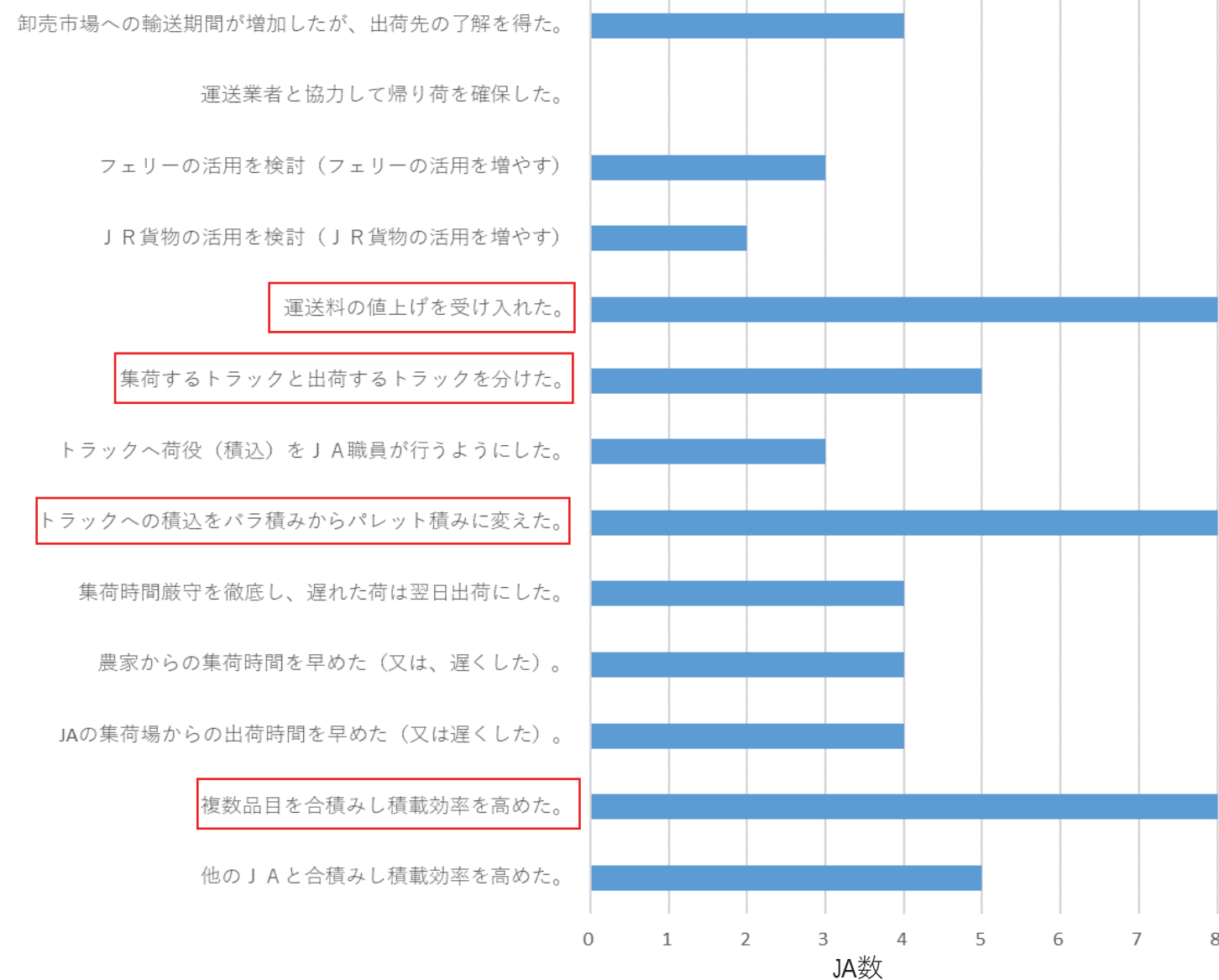
- ・生産者団体を中心となって りんご出荷用の統一パレットを試行中（青森県生産者団体）
（※選果場・段ボール等の関係から 1 1 型が向かない）
- ・レンタル 1 1 型パレットを導入または協議中（秋田県、岩手県、宮城県生産者団体）
- ・県内生産者団体からの委託を受けて運送し、1 1 型レンタルパレットを導入（山形県生産者団体）
- ・閑散期の複数生産者団体による合積みを実施し積載効率を向上（岩手県、福島県生産者団体）

○産地（JA）毎の主な動き・状況

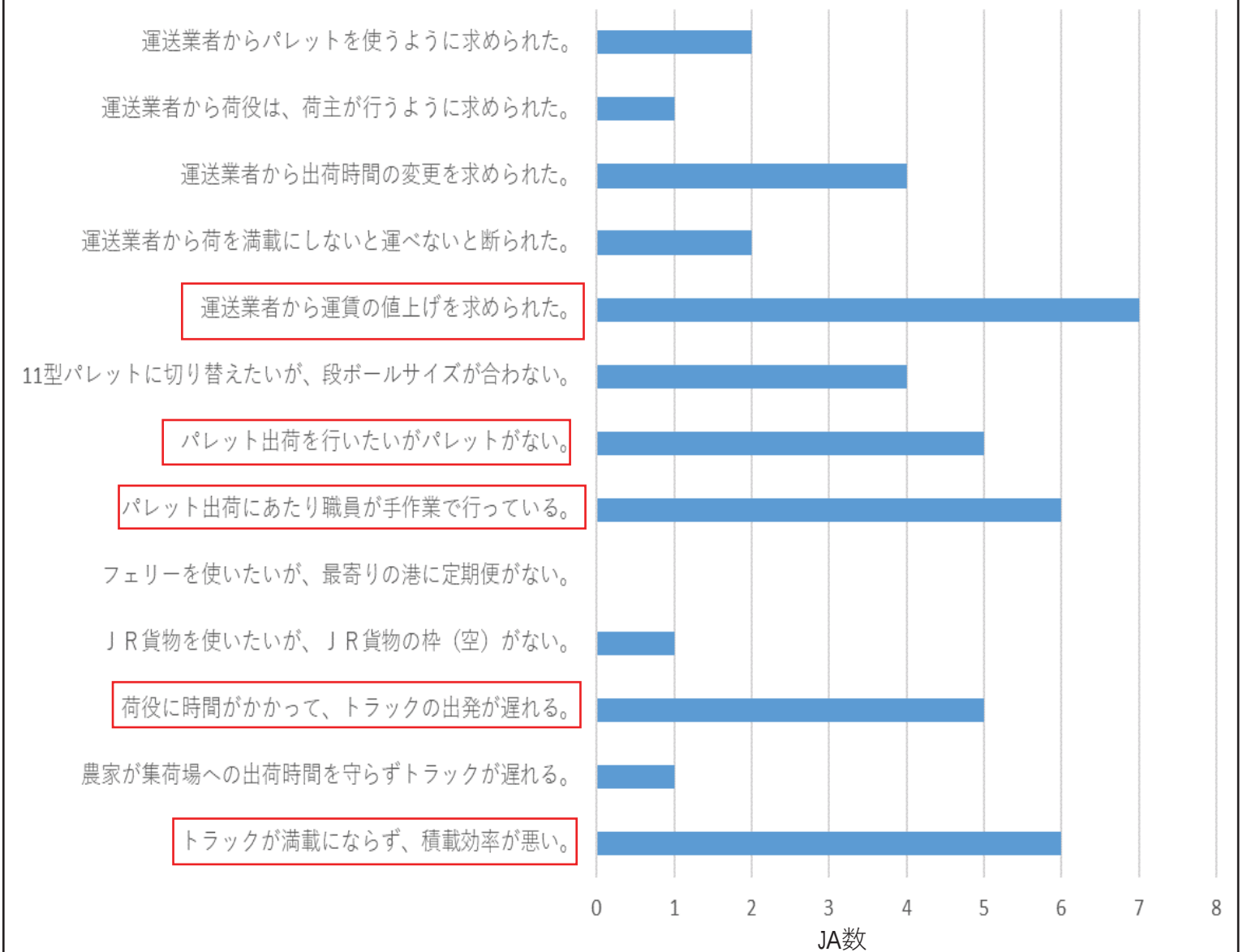
- ・令和 3 年産（りんご）以降鉄道輸送を増やしている。（青森県生産者団体）
- ・長いも、ぼごうは、1 1 型パレットには合わないので 11×12 パレットを生産者団体本部と検討中（青森県生産者団体）
- ・レンタル方式による 1 1 型パレット使用を生産者団体本部と協議中（岩手県、宮城県生産者団体）
- ・北海道向け花きの輸送が困難になったことから、東京の他市場へ出荷先変更を検討中（宮城県生産者団体）
- ・物流事業者が秋田県内の生産者団体を取りまとめて、県内集荷便と遠距離幹線便に分離し効率化（秋田県生産者団体）
- ・さくらんぼの拠点集荷場を 2 ヶ所に集約し効率化（山形県生産者団体）
- ・運送会社や市場とも協議しレンタルパレット導入を決定（福島県生産者団体）
- ・関西向けの出荷（きゅうり）にあたり、週 2 回は名古屋で中継（福島県生産者団体）

（参考）意見交換対象 13 生産者団体のアンケート結果

【3月までに対応したこと】



【4月以降の課題(運送事業者から求められていること含む)】



(まとめ) ※管内の代表的、特徴的な課題、取組状況をピックアップ

	課題	取組状況
①ドライバーの手荷役の削減	・ドライバーが荷役を行っている。	・ドライバーが行っていた荷役を生産者団体職員が行うようにした。 ・手荷役からパレット・フォークリフトの活用に変更した。 ・運送会社との契約を見直し荷役作業分の労賃を負担
②長距離・長時間（待ち時間）トラック輸送	・数か所の集荷場を回って集荷しているため非効率 ・集荷場の集荷時間が厳守されず、トラックの出発が遅れる。 ・都内の市場へは、1トラックで複数の市場への荷下ろしをしており非効率。 ・関西・九州方面へは、トラック輸送が困難	・ <u>集荷施設を集約</u> し、トラックの集荷時間を短縮した。 ・出発時間に間に合わなかった荷は、翌日出荷とした。 ・ <u>都内の市場への出荷は、埼玉で中継</u> することとした。また、複数市場への荷下ろしは2か所までとした。 ・ <u>保冷庫を活用し、当日出荷から翌日出荷</u> 、翌々日着とした。
③パレット化	・りんご出荷に合ったパレットがない。（青森県） ・雑パレットが主流 ・トラックが箱型・冷蔵タイプであるため、パレット積みに向いていない。一方、ウイング式のトラックは、冷蔵能力が低い。	・りんご用パレットを試作・試験中（青森県） ・生産者団体ごとに異なっていた長ネギの段ボールサイズを統一（宮城県） ・11型レンタルパレットの導入に向けて生産者団体と協議（岩手県、宮城県） ・生産者団体による段ボールサイズ共通化と11型レンタルパレットを導入（秋田県） ・長いも、ごぼうは、11型パレットには合わないため、12型パレットの導入を協議中（青森県）
④共同・中継輸送	・中継することで、運賃の上昇を懸念	・関西への出荷にあたり、名古屋で中継することとなったが、週2回（休市日）については、名古屋から市場までの運賃は、市場側の負担とした。（福島県） ・閑散期の複数生産者団体による合積みを実施し積載効率を向上（岩手県）
⑤モーダルシフト	・鉄道輸送の使用を増やしたいが、夏場は冷蔵コンテナが確保できず、これ以上増やせない。（青森県） ・近くに適当な港と運航路がない。（青森県） ・品質低下に伴う価格低下や廃棄となる場合を懸念	・鉄道輸送の枠を確保する当たり、一定量を安定的に出荷するように努めている。 ・仙台～名古屋港でフェリー使用（西瓜：山形県） ・鉄道でのコンテナ輸送を試験。温度上昇の問題あり（山形県）
⑥積載効率	・単品目では、満車にならない。 ・11型パレットでは、トラックの荷台に隙間が空いて効率が悪い。	・複数生産者団体・複数品目の合積みを実施
⑦運賃	・値上げを求められている。	・運送会社からの運賃改定に応じているが、 <u>産地・生産者のコスト負担が増加</u> 。
⑧出荷困難	・北海道向けの花きについて、運送業者（福島県）の自社まで持っていないと運んでもらえなくなった。（宮城県） ・取扱数量・品目が少ない市場への出荷は非効率	・出荷先の変更、運送業者変更、運送業者までの運送等を検討中（宮城県） ・取扱量の少ない市場については、出荷を断った。
⑨出荷先（荷下ろしカ所）の集約	・運送会社から東京方面の出荷にあたり、荷下ろし先の集約を求められている。	・出荷先（荷下ろしする箇所）を2か所までに限定（青森県） ・小ロットの出荷先は、料金は高いが宅配便を活用（青森県）
⑩その他	・運賃のほかに資材費も上場している。	・販売価格に転嫁できないことから、生産者が負担

日付	都道府県	情報収集した相手先	品目	4月以降の物流の状況	生じている課題	左記の対応策等
4月18日	青森	生産者団体	りんご	鉄道での輸送量を拡大して概ね従前どおり出荷可能	①鉄道輸送の冷蔵コンテナが不足 ②運送料金の値上げの要請 ③選果場と適合した段ボールとの問題から11型パレットの利用ができない。	①UR（冷蔵）コンテナの台数確保 ②6年産より値上げに対応 ③りんご専用の統一パレットを試作中（青森県）
4月17日	青森	生産者団体	野菜、果樹	現在出荷品目が少ないため概ね従前どおり出荷可能であるが、夏秋野菜の出荷最盛期及び果樹と野菜の合積みによる輸送対応に懸念がある。	①運送事業者から集荷場所と輸送先の削減を要請 ②小ロットの市場への出荷不可 ③11型パレットでは積載効率が悪い ④出荷先市場の輸送効率や待機時間が長い市場は運送会社から断られる。 ⑤パレットへの荷積みや横持移送が発生し生産者料金負担が増大している。	①集荷場所を1～2か所とし出荷先を2か所下ろしまでとした。（出荷場所への移送が必要） ②宅配便活用（販売単価の高い品目） ③12型パレット、りんご専用パレットの併用 ④出荷先市場の削減及び市場への改善要請 ⑤作業員の増員や作業委託が必要
4月17日	青森	生産者団体	野菜	概ね従前どおり出荷可能	①運送料金の値上げの要請 ②長いも・ごぼうのパレット輸送	①運賃値上げの受諾 ②長いも・ごぼうは12型パレットを検討
4月12日	岩手	生産者団体	花き（りんどう）	夏からの出荷であり、今後の状況を注視	現状の段ボールのばら積みで問題ない。（市場等から見直しの要請はない） ①運送料金の値上げの要請 ②パレットの導入の試験を行ったが、段ボールサイズがパレットに合わないことが分かった。	①昨年、一昨年と値上げに対応

日付	都道府県	情報収集した 相手先	品目	4月以降の物流の状況	生じている課題	左記の対応策等
4月10日	岩手	生産者団体	野菜	概ね従前どおり出荷可能	① 単一品目で満載とならない。 ② 木製雑パレットの不足 ③ 都内市場気付け禁止制限 ④ 鉄道輸送の活用（名古屋まで輸送試験）	① 生産者団体が他生産者団体と混載調整 ② 生産者団体がレンタル方式のプラパレ導入予定 ③ 埼玉県内に中継拠点の計画。引取り方法（配車・運賃負担）で課題 ④ 不通遅延の場合の品代補償、冷蔵コンテナ不足
4月11日	宮城	生産者団体	野菜 花き	概ね従前どおり出荷可能 ※花きは、運送業者から6月以降の出荷場発、札幌までの運送を断られた。	① 単一品目で満載とならない ② 木製雑パレットの不足 ③ 11型パレットへ段ボール規格変更 ④ 花きの札幌市場出荷が困難	① 生産者団体が他生産者団体と混載調整 ② 生産者団体がレンタル方式のプラスチックパレットを導入予定 ③ 選果設備と出荷規格の変更 ④ 運送事業又は、出荷先の変更を検討
4月15日	宮城	生産者団体	野菜・米穀	概ね従前どおり出荷可能	① 秋の庭先集荷業者不足（米穀） ② 集荷の効率化の要請（野菜） ③ 運送料金の値上げの要請	① 県内集荷をまとめて行う運送事業者の確保 ② 集荷場所の集約と集荷時間の前倒し ③ 既に値上げを受け入れたが来年度の契約更新時の値上げ要請が想定される。
4月17日	秋田	生産者団体	米穀	概ね従前どおり出荷可能	① 今後、近い将来、秋の庭先集荷業者不足が懸念	① 運賃の値上げ受諾と運送会社追加募集
4月18日	秋田	生産者団体	野菜・花き	県内集荷と幹線輸送の分離で効率化により概ね従前どおり出荷可能	① 集荷時間の削減 ② パレット出荷対応 ③ 運送料金の値上げの要請	① 集荷場から出荷拠点まで生産者団体が運送し出荷拠点を1カ所に集約 ② 野菜の段ボールサイズの見直し ③ 6年産より値上げに対応（生産者団体と生産者折半）
4月12日	山形	生産者団体	果樹・野菜	遠距離市場は1日着日を延長、県内集荷場を集約し概ね従前どおり出荷可能	① 集荷時間及び待機時間の短縮 ② 鉄道輸送への切り替え ③ 運賃の値上げ	① 遠距離市場は1日着日を延長、県内集荷場を集約 ② 鉄道輸送コンテナの庫内温度上昇対策

日付	都道府県	情報収集した 相手先	品目	4月以降の物流の状況	生じている課題	左記の対応策等
4月24日	山形	生産者団体	果樹	当日出荷を翌日以降の出荷に変更し概ね従前どおり出荷可能	①集荷時間の短縮依頼 ②市場着日の1日延長	①拠点集荷場の集約（5→2ヶ所） ②一部の品目・市場で+1日の延長の取組
4月23日	福島	生産者団体	果樹・野菜	概ね従前どおり出荷可能	①首都圏の複数市場への荷下ろし ②パレットの不足	①生産者団体や市場側が中継拠点を設置 ②パレットの購入に加え、卸売市場及び運送業者と協議しレンタルパレットを導入予定
5月15日	福島	生産者団体	野菜	中継輸送を行い、概ね従前どおり出荷可能	①関西の市場への出荷にあたりドライバーの労働時間が規制を超過 ②運送料金の値上げの要請	①関西の市場へは、週2回、名古屋で中継 ②5%ずつ2回段階で値上げ予定

<荷主側として検討を要する主な課題>

- ・ 運賃価格や運送附帯業務にかかる交渉（値上げ、労働条件の整備）
- ・ 積載方法や積載率の向上（パレット輸送体制の確立、出荷箱の規格の検討、積載効率の向上、パレットの回収、廃棄、フォークリフトの台数）
- ・ 集荷時間の調整による待機時間の削減（出荷日の前倒し、入線時間の後ろ倒し）
- ・ 集荷先や配送先の集約（遠方への配送は困難になる可能性）

<個別の対応例>

A市役所（長野県・青果物）

【物流の状況】 生産者団体及び運送業者等関係機関との検討会を開催（令和6年2月）

【課題】（荷主）運賃の値上げや遠方の市場への商品の到着時間の遅れなどを危惧
（荷主）近場の市場の比重を高めると市場の要望に応えられない懸念
（運送）IC近くでの物流拠点用地の取得に際し農地転用等課題が多い

【対応策】（荷主）出荷先を中京・近畿方面から関東・中京方面へ変更する方向
（運送）近隣ホテルへのラストワンマイル配送について、農業者が仲卸業者の基地まで農産物を運び、仲卸業者が実需者まで配送することを検討

B産地生産者組合（群馬県・キャベツ）

【物流の状況】 運賃は前年比10%超えの値上げ

【課題】・ 販売先によって荷下ろしの際に待機時間が発生
・ 一部業者で、相手先指定の台車に積み替えるといった附帯作業が発生

【対応策】・ 遠隔地向けにおいて運送会社の要望にあわせて早朝の積込に対応

C産地生産者組合（神奈川県・キャベツ、大根）

【物流の状況】 特に変化なし

【課題】・ 集荷に時間がかかる
・ 出荷先（市場）が多い
・ 遠方の出荷先は新鮮なうちに届けるのが難しくなっている

【対応策】・ 集荷時間の短縮などを将来的に検討
・ 出荷先（市場）を減らし運送効率をあげるように検討中
・ 積載方法、積載率について、分荷市場を減らす方向で検討中

都道府県	情報収集した 相手先	品目	4月以降の物流の状況	生じている課題	左記の対応策等
岐阜県	製造業	菓子	●4月以降、運送会社の見積区分が詳細になり、これまで「運送費」の記載だけだったのが「高速料金」「待機時間」も記載されるようになった。待機時間が当社負担となり、商品価格に転嫁せざるを得ない状況。 ●中小の <u>運送会社は予約が混み合っており、発注リードタイム延長の要望</u> がある。	● <u>長距離トラックが予約できない</u> 。トラックドライバーの労働時間が短くなり、動かせるトラックの絶対数が減ったため。特に中小のチャーターと呼ばれるトラックは、これまで <u>1週間前で予約できたが2週間前予約を求めている</u> 。	●他の運送会社を探したり、得意先へ納期が遅くなる可能性(リードタイムの延長)がある旨の説明。 ●当社のような製造会社(発荷主)だけでなく、着荷主(納品先のスーパー等の物流センター)でトラックを待機させていたが、長時間待機が難しくなり、発送側と受注側でトラック問題について調整するための説明会が開催されるとの話も聞いている。 ●ドライバーの労働時間、納期、流通等、時間を集約しようとするどこかに負担(しわ寄せ)がいくので、 <u>自社だけでなくサプライチェーン全体で考えることが重要</u> 。
岐阜県	製造業	蒟蒻等	●4月以降、運送会社から値上げ要請はないが、昨年あたりから既に運賃の値上がりが顕著になっている。 ●運送会社からの要求はないが、納期が遅れる可能性があるため、当社の要望として聞いてもらえる顧客から <u>発注リードタイムの延長</u> をお願いする予定(大手スーパーは難しい)。	● <u>運賃上昇によるコストアップ</u> 。仕入れ及び販売(スーパーの物流費)の双方で運賃がかかるため利益を圧迫。 <u>他原材料の値上がり、人件費の上昇等</u> で非常に苦しい経営環境。	●運送費は量に関係なく1回当たりのため、了承してもらえる顧客に対しては、 <u>1週間当たりの出荷量は変えず運送回数を減らす(毎日→週3回)ことで運送費を下げる工夫</u> をしている。※大手スーパーは翌日納品のところが多い。
三重県	製造業	水産加工品	●特に前年度との変化はない。 ●取引先により <u>発注リードタイムを2日前から3日前に延長</u> するところもある ●5～6年前から搬入・搬出に伴う荷下ろしは自社のフォークリフトを用いパレット積みしている。	●当社は運送会社と直接契約をしていない。配送は取引先が仕立てたトラックが来て搬出し、商品代金は運送費を含めているため、運送会社との良好な関係が必要。	●運送会社の負担を減らすため、下記対応を行っている。 ①余裕を持った発注。 ②荷物受入れ時間の拡大 (5～6年前から朝7～16時ごろまで対応している)
三重県	製造業	大豆加工品	●契約している運送会社3社のうち2社から今夏以降15～20％程度の値上げ要望がある。 ●具体的な時期は明示されていないが、運送会社1社から一部の配送先への <u>納品時間を現在の1日2便(AM2時、6時)から1日1便(6時便だけ)に集約したいと要望</u> がある(量が少ないと非効率なため)。 ●トラックから自社倉庫へ原料資材を搬入する際、現在はパレットから自社のカゴ車の積み替えをドライバーにお願いしているが、 <u>ドライバーの負担軽減のため、年内にはそのままパレット納品に切り替えてほしいとの要望</u> がある。	●量が少ないと非効率なため荷量の最低保証条件がある。しかし、納品時間を1便(6時便のみ)に集約すると、2時までに欲しいというスーパー等の顧客のニーズに応えられなくなる。 ● <u>そのままパレット納品への変更</u> について、当社の倉庫スペースに限りがあるため対応に苦慮している。(パレットはカゴ車に比べスペースが必要。また、現在はドライバーがパレットを持ち帰っていたが、そのまま納品になるとパレットを返却するまで保管場所の確保、パレットを移動させるリフトを新たに購入する必要も生じるため) ・また、パレット→カゴ車への積み替えを自社で行うことになるため人的負担が増加する。	● <u>価格変更の依頼</u> (価格変更は運送費の値上げも一因だが、原料費、高熱費、人件費の上昇も含まれる)。 ●得意先への <u>注文受注時間の変更</u> (集荷を、現在の前日14時集荷から前々日集荷に前倒しすること等を検討中)。
愛知県	任意団体	青果物	●農水省補助事業を活用し、QRコードを活用した物流の効率化について実証している。	●トラックドライバーの長時間拘束(産地荷待ち時間、市場待機時間、市場荷下し時間)	● <u>QRコードを活用した、産地～市場間、市場内(卸/仲卸)連携による物流データ連携</u>
愛知県	卸売業者等	青果	● <u>深夜時間帯の一方通行化やトラック待機場所の設定</u> (R6.1.17から試行実施し、4/1から本格実施) ●試行期間中は <u>9割以上が待機時間30分以内となり一定の効果</u> を得た(4月以降は集計中)	●狭隘な敷地による <u>トラックの待機場所や荷下ろし場所、積み込み場所の不足、動線の錯綜</u> など。	●開設者と市場関係者で構成する場内物流改善検討会を定期的に開催し、課題の共有と改善策について協議している。

都道府県	情報収集した相手先	品目	4月以降の物流の状況	生じている課題	左記の対応策等
三重県	製造業	菓子	●本社工場がある地域は地元輸送業者の数も少なく、輸送業者の確保に苦労している。 ●長距離輸送が前提となっている地域は翌日納品を依頼することが難しくなった（東北地方へは1日で輸送することが出来なくなり、中一日空ける発注リードタイムに変更）。 ●周辺に商業施設等や製造業者が少ないないため、トラックの帰り便は運ぶ荷物が無い。このため輸送業者は、効率化が図りにくく輸送コストの削減は難しい。 ●法改正の内容が浸透しておらず、一部のセンターにおいてはいまだに付帯作業（バラ積み、バラ下ろし）がある。	●最大の課題は、手配できるトラックが事実上減少したため配送量が減ること。 ●トラックの便数が減ると急な注文等へも臨機応変に対応する必要があるため、以前より余剰在庫を待たざるを得ない状況。既に自社倉庫は満杯であり、近隣には条件に見合う貸倉庫は存在せず保管場所の確保、保管コスト上昇への対応に苦慮(適時の商品価格へ転嫁しにくくコスト上昇分を収益で補うことは困難)。 ●リードタイムや運送回数、納品数量の変更について、小売業からの理解が得られない（小売業は商圏によって製品の必要量が決まっており、物流問題が理由で納品数量が減少することは受け入れない。）。 ●近い将来には全出荷先への発注リードタイムを変更させる必要があると思われ、物流網を抜本的に再構築させなければならない。 ●リードタイムや発時間の変更には増員するか勤務体系を変更する必要があるが、当該地域では、16時以降に働いてくれる人員を確保することは非常に困難。また、受発注システムの前提条件が変わためシステム改修コストがかかる。	●現状、本格的な影響はまだ現れておらず、都度、得意先（卸問屋）と検討して対応しているが、本格的な影響が現れた際は一企業で対応するのは難しく、バリューチェーン全体としてどのように協業していくのか検討する必要。 ●また、他社と協力して配送拠点を整備するなど連携することで、配送問題や賞味期限切れに伴うリスク等を解決できる可能性はあるが、地域には企業自体が少ないため実現に向けた課題は多い。 ●原料となる米の調達面においては、単価上昇もしくは発注～納入までのリードタイム延長が発生する可能性。その場合は調達先の変更、複数社購買しているものであるならば調達バランスの変更を検討。また、トラック以外での輸送方法（主に鉄道輸送）への変更の提案を行う予定。
岐阜県	生産者団体等	トマト ほうれんそう	●トラックドライバーの1日の拘束時間を13時間以内とするため、12時間以内に完結する輸送体制を構築する必要。京浜地区は片道12時間以内、京阪神、北陸、中京地区は往復12時間以内の輸送を検討。 ●集荷の効率化のため、飛騨のほうれんそうは拠点集荷場の保管庫に横持輸送を行う。 ●パレットについて、100cm×120cmのパレットから保管庫の仕様に合わせた新たな102×130cmのパレットに変更する。また、集荷から出荷までの作業工程を同一パレットで実施（一貫パレチゼーション化）。	●トラックドライバーの1日の拘束時間の削減のため、積み込み・積み降ろし時間を削減する必要。 ●集荷時間について、飛騨のほうれんそうは横持輸送のため、リードタイムを変更する必要。 ●また、花については、青果物の集荷時間と合わないので調整が必要。	●荷積み時間削減のため、トラックドライバーの付帯作業を削減。 ●飛騨のほうれんそうについて、横持輸送のため、当日出荷から翌日出荷対応に変更し、荷待ち時間も削減。 ●横持ち輸送による荷積み箇所数を削減し、集荷時間を削減。 ●荷積み時間を前倒し、トラックの出発時間を早めることで納品先での込み合いを避け待機時間を削減。 ●花について、青果物の集荷時間と合わないことと、トラック1台当たりの荷降ろし箇所数を削減するため青果物と切り離して別便で輸送。
三重県	生産者団体等	トマト かんきつ モロヘイヤ なばな	●管内生産者団体にアンケートを実施し、物流会社ごとの運賃、集荷場所・納品場所等を把握。その結果、2024年問題として現時点では特段の問題点が見当たらなかった。 ●120cm×100cmのパレットが、三重県内の青果物の品目に対応し、効率がよく、生産者団体が所有する必要もないことから今後も当該パレットを使い続ける。	●別の集荷場への横持運賃が発生するなど、輸送コストが増加。 ●110cm×110cmのパレットについて、一部品目で輸送試験を実施したが、パレットのレンタル料などにより継続的な使用は困難。	●県内の物流会社ごとの得意な地域、集荷・納品場所の融通等を把握し、物流会社を使い分け。 ●コスト削減を図るため、県下の生産者団体間の共同輸送を行い、積載率の向上により運賃を抑制。

北陸農政局管内における物流状況の聞取り総括表

情報収集先	取組	4月以降の物流の状況	生じている課題	対応策等
産地	流通標準化	—	—	—
	物流D X	—	—	—
	輸送体制	・小ロットの輸送は従来通り輸送ができなくなる品目が発生している。 ・輸送時間の関係で一般道路ではなく、高速道路を利用しなければならなくなった。	・朝一の市場への納品が難しいため、翌日販売が行えない状況。 ・高速道路利用等に伴う運搬コスト上昇。 ・幹線便のドライバーの1日の拘束時間が法定限度を超過してしまう恐れが生じている。	・小ロット品目と大ロット品目の混載を検討中。 ・市場関係者と密に連絡を行い、まとめて出荷。 ・ドライバーの1日の拘束時間を法定限度に収め、販売日を遅らせる。
市場	流通標準化	・外装は標準化には至っていないが、標準パレットの利用が進み、トラックの直積みは少なくなっている。	・北陸は他県産青果の入荷が多く（7割～8割強）、パレットが溜まり、中に壊れた木製のパレットがあり、卸が支払うパレットの修理代、処分費用は高額となっている。 ・卸はパレットを十分に管理できていない。 ・個人の生産者まで外装の標準化は至っていない。	・荷主に対して、パレット積みを要請。 ・パレットの管理について、場内関係者で検討中、又は検討予定。
	物流D X	・産地の出荷伝票は紙ベースのものがああり、卸でデータ化している。		・<u>中継共同物流拠点としての市場再整備と出荷情報、販売情報の電子化による業務効率化</u>
	輸送体制	・市場内でドライバーの荷待ちはない。 ・遠隔地の荷がこれまでより、1日遅れで届くものが出てきた。 ・青果物は中継して、他県へ配送するものがある。 ・運送業者から単価交渉が始まっている。	・荷が小ロット混載便は1台のトラックにまともらず、運賃が高くなったり、便が減る傾向がある。 ・中継地点としての冷蔵庫施設の収容量の限界。 ・日本海側で中継地点が作れるかが課題。	・<u>隣接県の卸売業者同士の資本業務提携による集荷力強化</u>

農林水産品・食品の物流に関する 官民合同タスクフォース（第2回）

令和6年5月31日
近畿農政局

- 1 「物流 2 0 2 4 年問題」の解決に向けた政府機関支分部局
5 機関による連携協定締結について・・・ 3
- 2 「物流 2 0 2 4 年問題」の影響に係る情報収集について・・・ 5

「物流2024年問題」の解決に向けた政府機関支分部局5機関による連携協定締結について



- 「物流2024年問題」について、従来から各省庁において強力に取り組を進めてきており、令和5年6月に「物流革新に向けた政策パッケージ」が政府において取りまとめられた。
- 本パッケージについて、大阪労働局、近畿農政局、近畿経済産業局、近畿運輸局及び公正取引委員会事務総局近畿中国四国事務所の近畿5関係行政機関がより強固に連携し、取組を一層強力に進め、物流に係る課題に取り組むため、令和6年4月16日に連携協定を締結した（写真は調印式の模様）。
- 関係行政機関は以下の事項について定期的に協議し、協議が整った事項を積極的に推進していくこととしている。
 - ・ 説明会（各組織の取組や補助制度等）の共催
 - ・ 集中対応時期や重点事案への連携した対応 等
- 協定締結後、近畿農政局のメールマガジンにて、「2024年問題への対応」としてトピックを掲載。連携協定を締結したことについてお知らせするとともに、他省を含む関連した施策や事業の情報を発信。
※ 次頁に掲載イメージ
- 近畿運輸局HPに、当省の事業も含め、トラック運送事業者が利用可能な各種補助金メニュー（令和6年度）を掲載（準備中）。

近畿農政局メールマガジンへのリンク掲載イメージ（準備中）

～行政機関からお知らせです～

（公正取引委員会（※1）・大阪労働局・近畿農政局・近畿経済産業局・近畿運輸局）

令和6年5月 号外
編集：近畿運輸局

トラック運送事業者、物流事業者の皆様へ

補助金を活用してみませんか。



デジタル式運行記録計

予約受付、配車計画、運賃計算、
運行・労務管理システム

パレット化、共同配送、
フォークリフト

近畿運輸局HPに各種補助金を紹介しています。

HP：

- ・新たな補助金が創設等のタイミングで、適宜更新します。
- ・各種補助金の詳細については、リンク先よりご確認ください。

利用可能な補助金の一例

過去最大級の補助金予算が
組まれた 今がチャンス！！

補助対象者	補助の概要	申請期限	予算
自動車運転の業務に 従事する労働者を雇 用する事業主	名称：「働き方改革推進支援助成金」 業種別課題対応コース（運送業） 主な補助内容：生産性を向上させ、時 間外労働の削減させた事業者へ支援	R6.11.29	厚生労働省
食品流通業者と運送 事業者、貨物利用運 送事業者等により構成 する協議会	名称：物流生産性向上推進事業 主な補助内容：パレット、外装、コード 等の物流標準化等に取り組む支援	R6.6.28	農林水産省
中小企業・小規模事業 者	名称：IT導入補助金（サービス等生産 性向上IT導入支援事業） 主な補助内容：生産性向上のため、IT ツールの導入支援	(通常枠) R6.6.19	経済産業省
荷主企業及び貨物運 送事業者等物流に係 る関係者によって構成 された協議会	名称：モーダルシフト等推進事業 主な補助内容：複数企業による混載や、 館内物流における共同配送の支援	R6.6.7	国土交通省
大阪府内に本店（住 所）または主たる事業 所を有する中小事業 者	名称：新事業展開テイクオフ支援事業 主な補助内容：新事業を推進するため のドライバーの免許取得のための教 習経費等の支援	R6.6.28	大阪府

（※1）正式には公正取引委員会事務総局近畿四国事務所

○近畿農政局では、輸送力不足による物流の停滞が懸念される「物流2024年問題」について、局内及び支局が連携し、4月下旬から5月上旬にかけて、生産出荷団体のみならず、農林水産関連の流通に携わる各業種へ情報収集を行った。

○情報収集の内容

- ・ 4月以降回答時点までの物流の影響
- ・ 今後生じることが懸念される課題
- ・ 影響・課題に対する今後の対応策
- ・ 国への要望 等

○情報収集先

- ・ 生産者団体等（14団体）
- ・ 中央卸売市場内の卸売業者（11業者）
- ・ 地方卸売市場内の卸売業者（7業者）
- ・ 食品製造業者（9業者）
- ・ 農機具・資材メーカー（1業者）
- ・ 種苗メーカー（1業者）
- ・ 卸・小売業者（7業者）
- ・ 獣医・家畜共済（6機関）
- ・ 生乳販連（1団体）

情報収集結果の概要（ポイント）

1. 4月以降回答時点までの物流への影響

発荷主・着荷主ともに、運賃の値上げや輸送時間の増加等により、4割強が物流への影響が生じていると回答した。

全体として輸送に要する日数が増加し、

- ・コスト増に伴う負担増
 - ・鮮度への影響（特に水産物）
 - ・入荷頻度の減少
 - ・集荷の時間厳守、集出荷の集約化への協力
 - ・遠方からの出荷の到着時間の変更に伴う他産地との間での調整
- などが発生

2. 今後生じることが懸念される課題

発荷主・着荷主ともに、運賃の更なる値上げ、輸送時間の増加による品質低下、価格上昇に伴う需要減少、重要度の高い生産資材の遅配による生産への影響など、9割近くが何らかの懸念があると回答した。

- ・青果の出荷時期を今後迎えた際に、東北など遠方への出荷について、輸送時間の増加による支障や制約が生じることを懸念。
- ・運賃の更なる値上げにより、価格上昇に伴う需要の減少や本体価格への値下げ圧力が高くなることを懸念。
- ・出荷の時間厳守、市場への入荷頻度の減少に対応するため、冷蔵保管施設や水槽の増設等の費用負担の発生を懸念。
- ・物流の柔軟性が損なわれることに伴う発注までの締切のタイト化や、病虫害の緊急防除のための資材の入手を始めとする緊急対応等への影響を懸念。

情報収集結果の概要（ポイント）（つづき）

3. 影響・課題に対する今後の対応策

対応策として、①長距離輸送（物及び時間）の削減、②ハブ市場等を介した中継輸送、③荷待ち・荷役時間の削減、④積載率向上・大ロット化、⑤流通・店頭在庫の見直し等といった回答があった。

4. 国への要望

物流効率化（パレット使用等）や保管庫の増設に伴う施設改修への支援、コスト増に対応した適正価格形成への仕組みづくりへの対応、高速道路の無償化、トラックの速度リミッター改修への支援といった要望があった。

※ 次回タスクフォースに向け、懸念を抱いていた業者を中心に、継続して情報収集を行う予定。

業種別回答

1. 4月以降回答時点までの物流への影響

業種	回答業者数	発荷主								着荷主							
		影響なし	影響あり						影響なし	影響あり							
				値上げ等	配送時間等	業者人員等	品質等	その他			値上げ等	配送時間等	業者人員等	品質等	その他		
JA	14	8	6	4	3	2	1	3	4	1	0	0	0	1	0		
中央卸売市場	11	1	6	3	6	0	0	2	3	8	2	6	1	0	4		
地方卸売市場	7	4	1	0	1	0	0	0	3	2	0	0	2	0	1		
食品製造業	9	6	3	3	3	0	0	0	2	5	2	3	0	0	1		
農機具・資材メーカー	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0		
種苗メーカー	1	0	1	1	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1		
卸・小売業者	7	4	2	1	1	1	0	0	4	3	0	3	2	0	2		
獣医・家畜共済	6	6	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0		
生乳販運	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0		

2. 今後生じることが懸念される課題

業種	回答業者数	発荷主								着荷主							
		懸念なし	懸念あり							懸念なし	懸念あり						
				値上げ等	配送時間等	業者人員等	品質等	その他	値上げ等			配送時間等	業者人員等	品質等	その他		
JA	14	0	14	12	9	4	0	9	2	3	2	6	2	1	1		
中央卸売市場	11	0	7	4	4	1	2	2	0	11	4	7	2	4	7		
地方卸売市場	7	1	4	2	2	1	1	1	1	4	1	1	2	1	3		
食品製造業	9	1	8	3	6	2	2	0	1	6	1	4	1	0	3		
農機具・資材メーカー	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0		
種苗メーカー	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1		
卸・小売業者	7	0	6	2	4	6	0	1	0	7	2	7	1	2	3		
獣医・家畜共済	6	3	2	1	1	0	0	0	2	3	2	1	1	0	1		
生乳販運	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0		

3. 影響・課題に対する今後の対応策

業種	回答業者数	発荷主						着荷主					
		対応策の内訳						対応策の内訳					
		長距離輸送(物及び時間)の削減	ハブ市場等を介した中継輸送	荷待ち・荷役時間の削減	積載率向上・大ロット化	流通・店舗在庫の見直し		長距離輸送(物及び時間)の削減	ハブ市場等を介した中継輸送	荷待ち・荷役時間の削減	積載率向上・大ロット化	流通・店舗在庫の見直し	
JA	14	1	1	8	7	10		0	1	4	0	4	
中央卸売市場	11	1	0	2	0	1		1	0	8	2	5	
地方卸売市場	7	0	0	2	0	0		0	0	3	0	1	
食品製造業	9	1	0	3	1	9		1	0	2	1	2	
農機具・資材メーカー	1	0	0	1	0	0		1	0	1	0	0	
種苗メーカー	1	2	0	1	0	3		2	0	1	0	3	
卸・小売業者	7	2	0	3	1	4		4	0	9	1	2	
獣医・家畜共済	6	0	0	0	0	0		0	0	1	0	0	
生乳販運	1	0	0	1	1	0		0	1	0	0	0	

※ 複数回答があるため、内訳計と業者数等は一致しない。

1. 4月以降の物流への影響

【発荷主】 影響なし 8

〈回答数14〉 影響あり 6 （値上げ等 4 配送時間等 3 業者・人員等 2 品質等 1 その他 3）

（主な記載） ・市場出荷のための輸送や農家への燃料などの配送の際の運賃の値上げ
・運送業者から集荷日時を指定されたり、集荷場や出荷先の集約を求められた
・運賃の値上げ分を負担せざるを得ない
・主産物（柿）の出荷時期を迎えていないため、影響は未知

【着荷主】 影響なし 4

〈回答数5〉 影響あり 1 （品質等 1）

（主な記載） ・資材が希望日時に納品されず、作物生産そのものに支障が生じることや運送コスト増に伴う農家負担の増加

2. 今後生じることが懸念される課題

【発荷主】 懸念なし 0

〈回答数14〉 懸念あり 14 （値上げ等12 配送時間等 9 業者・人員等 4 その他 9）

（主な記載） ・輸送時間の増加や品質への影響懸念から、直送できない市場が発生することによる販路の縮小
・輸送コスト増を原因とする消費者価格の上昇による需要の減少や農産物の本体価格への値下げ圧力が発生
・輸送の柔軟性が損なわれることによる発注への対応の柔軟性の低下
・運送会社からの値上げ要請と市場等からの自助努力要請の板挟みと自助努力の限界
・パレット利用により車載可能量が減少（たまねぎ1,050ケース→800ケース）することへの懸念

【着荷主】 懸念なし 2

〈回答数5〉 懸念あり 3 （値上げ等 2 配送時間等 6 業者・人員等 2 品質等 1 その他 1）

（主な記載） ・産地からの輸送時間の増加による運賃の値上がりや、品質への影響を懸念
・今後生産時期を迎える農作物にとって、資材が希望日時に納品されず、作物生産そのものに支障が生じる懸念
・効率化に向けたパレットの使用の有効性等は認識していても、それらの管理が早急に追い付かないことへの懸念

3. 影響・課題に対する今後の対応策

【発荷主】 長距離輸送の削減 1 ハブ市場等を介した中継輸送 1 荷待ち・荷役時間の削減 8 積載率向上・大ロット化 7
流通・店頭在庫の見直し 1 0

（主な記載） ・ハブ市場等を介した効率的な中継輸送システムの確立
・荷下ろし時間の短縮等効率化に資するため、生産者団体と運送会社が知恵を出し合い、パレットの規格統一化を進める必要
・資材等の配送に拘らず店頭販売にシフトする等、販売形態を見直すことを検討
・フレコン規格による効率的な出荷

【着荷主】 ハブ市場等を介した中継輸送 1 荷待ち・荷役時間の削減 4 流通・店頭在庫の見直し 4

（主な記載） ・コールドチェーンの確保等のための保冷施設整備、荷作業に係る機器、システム整備の検討

中央卸売市場内の卸売業者（11業者）

1. 4月以降の物流への影響

【発荷主】 影響なし 1

〈回答数7〉 影響あり 6 （値上げ等3 配送時間等6 その他2）

（主な記載）・減便による荷物減少、出荷時間の変更（締め切りのタイト化等）がみられることに加え、物流倉庫では当日出庫が不可なケースの増加、運送便での当日引き取りが不可なケースが増加する等、配送時間の長期化（遅れ）
・産地から直送であったものが中継を挟むことにより運賃が値上がりする等、輸送コストと商品価格が上昇

【着荷主】 影響なし 3

〈回答数11〉 影響あり 8 （値上げ等2 配送時間等6 業者・人員等1 その他4）

（主な記載）・遠方からの配送の場合に着日が1日延びたのみならず、中継を挟むことにより運賃が値上げ、水産物で最大45%値上がりしたケースもあり

2. 今後生じることが懸念される課題

【発荷主】 懸念なし 0

〈回答数7〉 懸念あり 7 （値上げ等4 配送時間等4 業者・人員等1 品質等2 その他2）

・更なる仕入れ価格の高騰、運賃コスト（発送、保管料、入出庫料、人件費等）の増加を懸念
・更なる減便、拠点市場から中継引取を強制されることにより、到着日が更に遅れる懸念

【着荷主】 懸念なし 0

〈回答数11〉 懸念あり 11 （値上げ等4 配送時間等7 業者・人員等2 品質等4 その他7）

（主な記載）・パレット輸送が推奨されていることに伴い、返却パレットを含めてパレットの確保、プラパレの管理やそれに関わる費用の発生、物流に携わる人材の不足等を懸念
・配送期間が延びたことによる生鮮物の鮮度維持に懸念

3. 影響・課題に対する今後の対応策

【発荷主】 長距離輸送（物及び時間）の削減1 荷待ち・荷役時間の削減2 流通・店頭在庫の見直し1

・鮮度保持等のため保管施設の増設等を検討する必要があるが、建築費用の捻出が問題

【着荷主】 長距離輸送（物及び時間）の削減1 荷待ち・荷役時間の削減8 積載率向上・大口ロット化2
流通・店頭在庫の見直し5

（主な記載）・荷卸時間の短縮を図るため、今後更に出荷者に対しパレット輸送を推奨
・青果物において、遠隔産地に対しては3日目販売とする、翌日販売産地に対しては出発時間を早める等の対応を依頼
・荷物到着後転送までの荷待ち時間を増やさないため、運送業者との定期的な打ち合わせを行い、課題を共有し対策を検討

地方卸売市場内の卸売業者（7 業者）

1. 4 月以降の物流への影響

【発荷主】 影響なし 4

〈回答数 5〉 影響あり 1 （配送時間等 1）

（主な記載）・従前直送していた青果物が、中継を挟むなど直送できなくなった等の影響が発生

【着荷主】 影響なし 3

〈回答数 5〉 影響あり 2 （業者・人員等 2 その他 1）

（主な記載）・青果物の引取業務等において、中継に係る費用等これまで発生しなかった経費の増加により、スーパーや量販店に対する販売価格の上昇を余儀なくされる影響が発生

2. 今後生じることが懸念される課題

【発荷主】 懸念なし 1

〈回答数 5〉 懸念あり 4 （値上げ等 2 配送時間等 2 業者・人員等 1 品質等 1 その他 1）

（主な記載）・遠隔地への輸送の際、これまでの翌朝着が延着することによる鮮度低下への懸念、ドライバー増員で対応しようにもコスト上昇が課題
・配送業者から更なる値上げが要請されることにより、商品の販売価格へ反映させざるを得ない影響を懸念

【着荷主】 懸念なし 1

〈回答数 5〉 懸念あり 4 （値上げ等 1 配送時間等 1 業者・人員等 2 品質等 1 その他 3）

（主な記載）・中継を挟むことで産地から直送出来なくなり、中継場所まで自ら引取に行かなければならないことによる負担増とその運賃の発生、輸送時間が延びることによる鮮度等品質低下への懸念

3. 影響・課題に対する今後の対応策

【発荷主】 荷待ち・荷役時間の削減 2

（主な記載）・パレット輸送による、荷受け作業時間短縮等の効率化

【着荷主】 荷待ち・荷役時間の削減 3 流通・店頭在庫の見直し 1

（主な記載）・出荷者側からのパレット輸送による、荷受け作業時間短縮等の効率化

食品製造業（9 業者）

1. 4 月以降の物流への影響

【発荷主】 影響なし 6

〈回答数 9〉 影響あり 3 （値上げ等 3 配送時間等 3）

（主な記載） ・業務用食品素材における配送業者からの遠距離輸送及び複数先への輸送の終了の要請や、それに伴う運賃の値上げ
・時間指定されている店舗等への納品が困難になる等の影響が発生

【着荷主】 影響なし 2

〈回答数 7〉 影響あり 5 （値上げ等 2 配送時間等 3 その他 1）

（主な記載） ・原料供給を受ける際のリードタイムが延長

2. 今後生じることが懸念される課題

【発荷主】 懸念なし 1

〈回答数 9〉 懸念あり 8 （値上げ等 3 配送時間等 6 業者・人員等 2 品質等 2）

（主な記載） ・遠距離配送が今以上にできなくなることに加え、複数箇所への配送が効率を理由に配送業者から断られる懸念
・大型ローリー等の運転を敬遠され、ドライバー確保が更に困難になる懸念

【着荷主】 懸念なし 1

〈回答数 7〉 懸念あり 6 （値上げ等 1 配送時間等 4 業者・人員等 1 その他 3）

（主な記載） ・発注先を配送業者に委託しているケースが多く、実情を理解しないまま 4 月以降に問題が表面化したり、配送業者の独断による着荷主への依頼が発生する懸念

3. 影響・課題に対する今後の対応策

【発荷主】 長距離輸送（物及び時間）の削減 1 荷待ち・荷役時間の削減 3 積載率向上・大ロット化 1
流通・店頭在庫の見直し 9

（主な記載） ・配送ルートの見直しや納入時間の指定緩和による配送ルートの効率化
・製造現場と生産計画・仕分けシステムの変更

【着荷主】 長距離輸送（物及び時間）の削減 1 荷待ち・荷役時間の削減 2 積載率向上・大ロット化 1
流通・店頭在庫の見直し 2

（主な記載） ・原材料等の仕入れを組合で共同購入することを検討
・納品指定時間の解除や緩和を依頼する

1. 4月以降の物流への影響

【発荷主】 影響あり（値上げ等1 配送時間等1 その他1）

（主な記載）・トラック運転手の人件費が20%上昇しているケースがみられ、上昇分は資材価格に転嫁される見込み
・肥料は、需要期が集中するため、トラックの待機時間が増える傾向

2. 今後生じることが懸念される課題

【発荷主】 懸念あり（値上げ等1 配送時間等1）

（主な記載）・原料の在庫が切れた際に、原料調達やメーカーからの輸送に係る人件費も上昇するため、更なる資材の価格上昇が懸念
・イレギュラーな高温や病虫害発生等に対応するためには、スポット的に短期間で資材を納入しなければならないが、その対応が困難になる懸念

【着荷主】 懸念あり（配送時間等1）

（主な記載）・病虫害等が発生した時に、適時に薬剤が納品されないことによる被害拡大への懸念

3. 影響・課題に対する今後の対応策

【発荷主】 荷待ち・荷役時間の削減1

（主な記載）・複数のパレットの形状・サイズが存在することが、手荷役が解消されない要因の1つとなっており、パレットの規格の統一化（11型や14へ等）は喫緊の課題
・工場におけるパレタイザーの仕様変更や設備更新、商品の規格やサイズの変更、外部倉庫の整備をすることで、輸送の省力化や迅速化を図ることが必要
・トラック予約受付システムを導入することことで効率的な配送に繋げる（一部工場で導入を進めている）

【着荷主】 長距離輸送（物及び時間）の削減1 荷待ち・荷役時間の削減1

（主な記載）・余裕を持って納品日を決め、過度なリードタイムを要求しない
・（生産者団体の倉庫を中継点として活用し）パレットによる積み下ろし等に係るタイムロスを軽減できるような体制を整備

種苗メーカー（1業者）

1. 4月以降の物流への影響

【発荷主、着荷主とも】

影響あり（値上げ等1 配送時間等1）

- （主な記載）
- ・ 運送業者から運賃値上げを要請されたことに伴い配送コストが上昇
 - ・ 配送を急ぐことによって苗が倒れる輸送中の事故が発生

2. 今後生じることが懸念される課題

【発荷主、着荷主とも】

懸念あり（値上げ等1 配送時間等1 その他1）

- （主な記載）
- ・ 翌日配達区域が限定され、中1日納品が遅くなることによる品質低下への懸念
 - ・ 大産地には全国から野菜苗が送られてきているが、夏場の野菜苗は翌日着が必須であることから、供給地域が限定され、産地（苗産地・野菜産地とも）の持続が難しくなる懸念
 - ・ 送料値上げや輸送時間増に伴う出荷日の制限、輸送中の過酷な環境に起因する品質不良への補償不安等
 - ・ 遠方顧客からの受注が制限されること、当用受注（在庫で対応できる受注）が減り、高冷地で作った苗が欲しいといった要望に応じられなくなることによる受注機会の損失

3. 影響・課題に対する今後の対応策

【発荷主、着荷主とも】 長距離輸送（物及び時間）の削減2 荷待ち・荷役時間の削減1 流通・店頭在庫の見直し3

- （主な記載）
- ・ 多頻度小口納品を見直すことや、従前の即納配送を翌日配送にするなどの柔軟な対応
 - ・ （現実的には難しいが）産地に近い所からの供給を検討
 - ・ 産地分散、運送業者の使い分け、品質保持資材等の活用、予約受注の促進

卸・小売業者（7業者）

1. 4月以降の物流への影響

【発荷主】 影響なし 4

〈回答数6〉 影響あり 2 （値上げ等1 配送時間等1 業者・人員等1）

（主な記載） ・各委託会社から大幅な値上げ要請（小売）
・遠方の発送日数が増加し、トラック確保が困難（小売）

【着荷主】 影響なし 4

〈回答数7〉 影響あり 3 （配送時間等3 業者・人員等2 その他2）

（主な記載） ・発送日数が増加することで、冷蔵庫を使用することとなり、コストアップとなった（卸）
・複数拠点の集荷に際し、トラック台数増加の必要性からコストアップ（卸）
・ベンダーより、店舗別仕分けから総量仕分けへの変更依頼（小売）
・配送時間規制により、産地直送便の減少（小売）

2. 今後生じることが懸念される課題

【発荷主】

〈回答数6〉 懸念あり 6 （値上げ等2 配送時間等4 業者・人員等6 その他1）

（主な記載） ・トラック（ドライバー）やセンターにおける作業者の確保（小売）
・7・8月の飲料需要増によるドライバー拘束時間の増加（小売）
・遠方産地からの商品の販売減少（小売）

【着荷主】

〈回答数7〉 懸念あり 7 （値上げ等2 配送時間等7 業者・人員等1 品質等2 その他3）

（主な記載） ・発送日数が増加することで、商品の鮮度が落ちる等の品質低下（卸）
・センター滞在時間削減の取組に非協力的な取引先への対応（小売）
・輸入貨物の通関後の引取時間が増加するため、常時の店頭在庫を増やさざるを得なくなり、コストアップ（卸）

3. 影響・課題に対する今後の対応策

【発荷主】 長距離輸送（物及び時間）の削減2 荷待ち・荷役時間の削減3 積載率向上・大ロット化1
流通・店頭在庫の見直し4

（主な記載） ・同業他社との共同物流や共同センターの活用による、流通の効率化（小売）
・到着時間の要件緩和や配送ルートの見直しにより便数の削減を図る（小売）

【着荷主】 長距離輸送（物及び時間）の削減4 荷待ち・荷役時間の削減9 積載率向上・大ロット化1
流通・店頭在庫の見直し2

（主な記載） ・仕分け作業の機械化を検討（小売）
・パレットやカゴ車輸送による負担軽減（小売）
・入荷予約率向上による待機時間の削減（小売）
・冷蔵倉庫は商慣行として15日・月末締め of 保管料算定があり、入出庫が15日と月末に集中するため、業界全体で保管料算定方法を見直すことが必要

※ 複数回答があるため、内訳計と業者数等は一致しない。

1. 4月以降の物流への影響

【発荷主】 影響なし 6

〈回答数6〉 影響あり 0

【着荷主】 影響なし 6

〈回答数6〉 影響あり 0

2. 今後生じることが懸念される課題

【発荷主】 懸念なし 3

〈回答数5〉 懸念あり 2 （値上げ等1 配送時間等1）

（主な記載） ・ 送料の増加（獣医師会）
・ 医薬品や家畜用飼料等、急な発注への対応が遅延すること（農業共済組合）

【着荷主】 懸念なし 2

〈回答数5〉 懸念あり 3 （値上げ等2 配送時間等1 業者・人員等1 その他1）

（主な記載） ・ 送料の有料化や増額、注文の都度届いていた荷物が数日分まとめて届くようになること（獣医師会）
・ 時間指定しても荷物が届かない可能性、運賃の値上げによるコストの上昇（農業共済組合）

3. 影響・課題に対する今後の対応策

【発荷主】

【着荷主】 荷待ち・荷役時間の削減1

（主な記載） ・ 医薬品等において余裕を持った発注（農業共済組合）

生乳販連（1団体）

1. 4月以降の物流への影響

【発荷主（酪農家）】 **影響あり**（値上げ等1）

（主な記載）・生乳生産量減により生乳1kg当たりの運賃が高騰したり、乗務員時間短縮に係る業務維持管理費や燃料費の高騰により運賃改定の申し入れがあった

【着荷主（乳業メーカー）】 **影響あり**（配送時間等1）

（主な記載）・運送会社から荷待ち時間の短縮や解消を要請されている

2. 今後生じることが懸念される課題

【発荷主（酪農家）】 **懸念あり**（値上げ等1 業者・人員等1）

（主な記載）・点在化する酪農家の広範囲な集乳に係る費用の増嵩や早朝からの長時間勤務の解消
・高齢化する乗務員の後継者確保

【着荷主（乳業メーカー）】 **懸念あり**（配送時間等1）

（主な記載）・酪農家から集荷した乳を貯めておく受け入れブースの増加や受け入れ作業時間の短縮により、待機時間の短縮または解消

3. 影響・課題に対する今後の対応策

【発荷主（酪農家）】 荷待ち・荷役時間の削減1 積載率向上・大ロット化1

（主な記載）・集乳車の大型化や効率的な路線を検討するなど合理化を図る

・1府県内1集乳業者の場合、運賃交渉は厳しい。しかし、府県内複数業者の場合、運賃交渉は比較的円滑に進むが合理化計画は集乳エリアが問題で難航する。このため、運送会社を一括調整する組織（生乳販連）が合理化計画作成を行うことで、路線の合理化と円滑な運賃交渉を可能にする。

※現状、各酪農家がそれぞれ配送業者と契約を結んでおり、それが必ずしも近い集荷場とは限らないため、生乳販連が運送会社を調整する役割を担い、全体として配送ルート効率化を目指す

【着荷主（乳業メーカー）】 ハブ市場等を介した中継輸送1

（主な記載）・地場（近畿圏）優先搬入による待機時間短縮や受け入れ時間短縮に向けて、受け入れ作業手順や受け入れ時間等の事前協議を行う

※近畿圏は主に消費地であり、小型集荷ローリーが午前と午後に集荷に回っているが、遠方の北海等からの大型集荷ローリーが午前に集荷場を占領してしまうと、近畿圏の集荷ローリーは午前に集荷場に入れなくなるため、近畿圏の集荷ローリーを優先的に搬入し効率化を図る

令和 6 年 4 月以降の青果物流通状況把握のヒアリング結果 (中国四国農政局)

1 ヒアリング対象

管内の主な生産者団体等及び卸売事業者等に対して、物流の「2024 年問題」に伴う青果物流通の状況変化等に関するヒアリングを実施。

- ・生産者団体等：遠距離出荷の割合が高い品目を扱う 11 の生産者団体等（岡山のぶどう、愛媛のかんきつ、高知のなす 等）
- ・卸売事業者等：遠隔地からの荷を受ける 6 の卸売事業者等

2 ヒアリング結果

(1) 生産者団体等

- ・今のところは、「物が運べない」といった大きな混乱は生じていない。
- ・運送業者からの運賃値上げ要請があり、多くの生産者団体等が受諾。

(2) 卸売事業者等

- ・入荷の遅延や入荷頻度の減少など物流事情が変化。

- (例)
- 産地からの出荷が連日出荷から隔日出荷に変更。
 - 一部の品目が入荷できない。
 - 仕入れ時に運送業者が要求する配送最低ロット数が増加。

3 今後について

管内では、これから出荷時期を迎える青果物もあるため、生産者団体等、卸売事業者等については、引き続き物流状況を注視する（各県拠点に対しては、生産者団体等を訪問した際は、物流 2024 問題の影響を確認するように指示）。

物流が滞るといった事態を確認した場合には、速やかに本省と連携し、適切に対処してまいりたい。

【参考】主なヒアリング結果内容（物流上の課題・対応策等）

※ 生産者団体等

- 運賃値上げに伴う生産者所得減少を懸念。
 - ⇒ 出荷先の絞り込み、販売単価の値上げ等の検討。
価格転嫁しやすい仕組みづくりを要望。
- 今後とも運送業者を手配できるのかを懸念。
 - ⇒ 県内出荷割合の増加、近隣生産者団体等と連携した荷の集約を検討。
- モーダルシフトを活用したいが、航路数やフェリー・JRコンテナの枠が不足。
- 物流効率化のため、集荷施設の集約・機械化を追求。

※ 卸売事業者等

- 入荷遅延により、保管時間が長期化。
 - ⇒ 品質低下を防ぐため、新たな冷蔵庫導入を検討。
- 一部の品目が入荷できず、品揃えが悪化。
 - ⇒ 近隣の卸売事業者から調達。
- 今後、地方への物流が減少することを懸念。
- 配送最低ロット数が増加。
 - ⇒ 売れ残りが生じないように工夫が必要。
- 遠隔地からの入荷が困難になることを想定。
 - ⇒ 調達先を県外から県内に変更することや近隣の卸売事業者から調達することを検討。

タスクフォース活動報告

第2回農林水産品・食品物流に関する官民合同タスクフォース
現地調査実施状況

九州農政局

令和6年5月31日

1 調査件数

	事業者数
出荷団体等	16
運送業者	1
計	17

2 調査結果

①物流の状況

物流の状況	事業者数	内 容
問題は生じていない	15	
一部で積み残しが発生	2	・年末等の繁忙期に一部で積み残しが発生。真空冷却後の冷蔵保管により影響は回避。 ・最近トラックが確保できず、積み残す事例が稀に発生。鮮度重視の出荷順変更により影響は回避。
計	17	

②運賃の改定状況

対応状況	事業者数	値上げ時期	値上げ割合
値上げ受入れ	16	・R4年10月 : 1事業者 ・R5年3月～4月 : 3事業者 ・R5年7月～9月 : 4事業者 ・R6年3月～4月 : 7事業者 ・R6年6月 : 1事業者	・20%程度 : 2事業者 ・15%程度 : 2事業者 ・10%程度 : 7事業者 ・未回答 : 5事業者
打診なし	1		
計	17		

③積込方法

方法	事業者数	内 訳
バラ積み	7	
パレット積み	5	
一部パレット積み	5	・半分程度をパレット積み : 1事業者 ・主はバラ積みで一部(1割未満)パレット積み : 2事業者 ・主はバラ積みで一部出荷先指定のパレット積み : 1事業者 ・コンテナ出荷のみパレット化 : 1事業者
計	17	

④出荷スケジュール

出荷スケジュール	事業者数
当日集荷、集荷当日出荷（例：4/1集荷、4/1出荷）	2
前日集荷、集荷翌日出荷（例：4/1集荷、4/2出荷）	13
前々日集荷、集荷翌々日出荷（例：4/1集荷、4/3出荷）	1
計	16

日付	都道府県	情報収集した相手先	品目	4月以降の物流の状況	生じている課題	左記の対応策等
R6.5.2	福岡県	生産者団体等	いちごほか	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：バラ積み（パレット化検討中） ○出荷スケジュール：当日午前集荷⇒集荷当日午後出荷 ○物流効率化の取組状況： ・産地及び消費地ストックポイント設置による荷物の集約化 ・ <u>フェリー利用</u> によるドライバーの拘束時間の削減	・一部の卸売市場ではドライバーが荷下ろし作業を担っているが責任の所在が不明確 ・ <u>パレット化</u> に係るコストを生産者、運送事業者、卸売市場、消費者等の関係者が応分に負担する仕組みが必要 ・ <u>パレット化</u> には、積載率の低下、段ボール形態の見直し、選果ラインの改修等が必要 ・貨物鉄道輸送は、自然災害などの影響を受けやすいことが課題	・11型パレットに適合する出荷段ボールの形態などを検討中
R6.4.23	福岡県	生産者団体等	小松菜等の葉物野菜	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：一部パレット積み ○出荷スケジュール： <u>前日集荷、一晩予冷保管⇒集荷翌日午前出荷</u> ○物流効率化の取組状況： ・ <u>パレット化</u> による積込作業の効率化 ・他のJAとの混載による積載率の向上	・計画以上の荷物が集まった際の追加のトラック確保が困難 ・出荷先市場の集約化が必要 ・雑パレットから <u>11型レンタルパレットに移行</u> する場合の施設改修費用、レンタルパレット導入費用の負担が課題	・出荷先の集約について、一部では出荷量の多い市場まで輸送し、近隣の市場が横持ち輸送している
R6.4.23	佐賀県	生産者団体等	青果物全般	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：パレット積み ○出荷スケジュール：前日集荷、一晩予冷保管⇒集荷翌日午後出荷 ○物流効率化の取組状況： ・集約拠点を設置し、地域内物流と幹線物流の分離による積載率の向上 ・運送事業者への出荷情報の事前提供による計画的配車	・地域内と幹線物流の分離に伴う地域内物流コストの増加 ・ <u>パレット化</u> により積込み作業の効率化は図られたが、一部の市場では荷下ろし作業の効率化が不十分 ・集荷場の集約化、出荷先市場の集約化が必要	・出荷先の市場について集約する方向で検討中
R6.5.10	佐賀県	生産者団体等	ハウスみかん	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：一部パレット積みもあるがバラ積みが多い ○出荷スケジュール：前々日集荷、一晩予冷保管⇒前日選果⇒集荷翌々日出荷 ○物流効率化の取組状況： ・ <u>フェリー利用</u> によるドライバーの拘束時間の削減	・ <u>パレット化</u> は市場の受け入れ体制とも関係するため、着荷主との調整が必要	—
R6.5.8	長崎県	生産者団体等	ジャガイモ	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：パレット積み ○出荷スケジュール：前日集荷、一晩常温保管⇒集荷翌日出荷 ○物流効率化の取組状況： ・ <u>パレット化</u> による積込み作業の効率化 ・ <u>フェリー利用</u> によるドライバーの拘束時間の削減	・ <u>フェリー輸送</u> により市場到着時間が早まる場合、市場スペースの関係から、市場への持ち込み時間の調整が必要	—

日付	都道府県	情報収集した 相手先	品目	4月以降の物流の状況	生じている課題	左記の対応策等
R6.5.8	長崎県	生産者団体等	たまねぎ	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：パレット積み ○出荷スケジュール：前日集荷、一晩常温保管⇒集荷翌日出荷 ○物流効率化の取組状況： ・ <u>パレット化</u> による積み込み作業の効率化 ・ <u>フェリー利用</u> によるドライバーの拘束時間の削減	・天候により出荷量が一定でなく、配車に苦慮 ・ <u>フェリー輸送</u> の新規枠確保が困難	・運送会社との詳細な出荷情報の共有により計画的な配車を図る
R6.4.24	熊本県	生産者団体等	<u>ミニトマト</u>	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：バラ積み（パレット化未定） ○出荷スケジュール： <u>前日集荷、一晩予冷保管</u> ⇒集荷翌日午後出荷 ○物流効率化の取組状況： ・運送事業者への出荷情報の事前提供による計画的配車 ・出荷準備の早期化による荷待ち時間の削減及び出発時間の前倒し ・荷役順序を目的地別に調整（東京便を優先）	・ <u>パレット化</u> による段ボール形態の見直し、選果ラインの改修が必要 ・補助事業の活用を検討しているが、事業者負担が大きいのが課題。	・補助事業の活用を検討中。
R6.5.1	熊本県	生産者団体等	<u>とまと</u>	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：バラ積み（パレット化検討中） ○出荷スケジュール： <u>前日集荷、一晩予冷保管</u> ⇒集荷翌日午後出荷 ○物流効率化の取組状況： ・荷役順序を目的地別に調整（東京便を優先） ・運送事業者への出荷情報の事前提供による計画的配車	・ <u>パレット化</u> による選果ラインの改修が必要 ・補助事業の活用を検討しているが、補助率のかさ上げが必要 ・ <u>レンタルパレット代</u> への支援が必要 ・産地、市場とも <u>パレット</u> のストック場所が必要	・補助事業の活用を検討中。
R6.5.9	熊本県	生産者団体等	<u>レタス</u>	○物流状況：大きな問題はないが、 <u>年末等の繁忙期に一部で積み残しが発生</u> （真空冷却後の冷蔵保管により影響は回避） ○積込方法：段ボール出荷はバラ積み、コンテナ出荷はパレット積み ○出荷スケジュール： <u>前日集荷、一晩予冷保管</u> ⇒集荷翌日午後出荷 ○物流効率化の取組状況： ・出荷準備の早期化による荷待ち時間の削減 ・一部 <u>パレット化</u> による積み込み作業の効率化 ・冬季はJR貨物を利用	・ <u>フェリー輸送</u> の新規枠確保が困難	—
R6.5.9	熊本県	生産者団体等	<u>きゅうり</u>	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：バラ積み及びパレット積み ○出荷スケジュール： <u>前日集荷、一晩予冷保管⇒集荷翌日午前出荷</u> ○物流効率化の取組状況： ・他の運送先の帰り便により運送 ・ <u>パレット化</u> による積み込み作業の効率化	・GWの長期休暇時期にトラック確保が困難なケースが発生 ・運送業者との新規の契約が困難なため、規模拡大、販路拡大の計画が立てにくい	—

日付	都道府県	情報収集した 相手先	品目	4月以降の物流の状況	生じている課題	左記の対応策等
R6.5.13	熊本県	酪農業	牛乳・乳製品	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：パレット積み ○出荷スケジュール（2パターン）： 前日製造、一晩冷蔵保管⇒製造翌日出荷 当日製造⇒当日出荷 ○物流効率化の取組状況： ・ <u>パレット化</u> による積み込み作業の効率化 ・ <u>フェリー利用</u> によるドライバーの拘束時間の削減 ・製品の冷蔵保管による前日製造、翌日出荷で荷役時間の短縮	・ <u>パレット化</u> に対応していない納入先の改善が必要 ・製品冷蔵保管庫の規模拡大	—
R6.5.13	熊本県	運送業	農産物全般	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：バラ積みがほとんど。パレット積みは5％程度 ○物流効率化の取組状況： ・出荷準備の早期化によるトラック出発時間の前倒し ・定期配送の空きスペースを活用した混載による輸送の効率化 ・荷主側からの出荷情報の事前提供による計画的配車 ・ <u>フェリー利用</u> によるドライバーの拘束時間の削減 ・運送会社が生産部会会合等に出向き、改善基準告示の内容や運送業の実態等を説明することにより、運賃改定に対する理解醸成を図る	・今後の繁忙期にトラックやドライバー不足による運べない事態を懸念 ・荷渡し作業の役割が市場により様々、ルールの一統化が必要 ・ <u>パレット化</u> に伴う積載率の低下 ・ <u>パレット化</u> に伴う施設改修などのコスト増 ・ <u>フェリー輸送</u> の新規枠確保が困難な状況	—
R6.5.14	熊本県	生産者団体等	柑橘類	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：パレット積み ○出荷スケジュール：当日午前集荷⇒集荷当日夕方出荷 ○物流効率化の取組状況： ・ <u>パレット化</u> による積み込み作業の効率化 ・運送業者ストックポイントでの混載による積載率の向上 ・運送業者の現状を出荷先に伝えて改善を要請 ・運送会社への出荷情報の事前提供による計画的配車	・今後の繁忙期にトラックやドライバー不足による運べない事態を懸念	—
R6.5.7	大分県	生産者団体等	<u>こねぎ</u>	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：バラ積み（パレット化検討中） ○出荷スケジュール： <u>前日集荷</u> 、 <u>一晩予冷保管</u> ⇒集荷翌日午後出荷 ○物流効率化の取組状況： ・ <u>パレット化</u> による積み込み作業の効率化 ・相対取引において積載率が8割程度となるよう注文を調整 ・運送会社への出荷情報の事前提供(1週間前)による計画的配車 ・ <u>フェリー利用</u> によるドライバーの拘束時間の削減	・ <u>パレット化</u> に伴う施設の改修が必要	—

日付	都道府県	情報収集した 相手先	品目	4月以降の物流の状況	生じている課題	左記の対応策等
R6.5.7	大分県	生産者団体等	柑橘類	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：バラ積み（パレット化検討中） ○出荷スケジュール：前日集荷、一晩常温保管⇒集荷翌日夕方出荷 ○物流効率化の取組状況： ・運送会社への出荷情報の事前提供(1か月前と1週間前の2回)による計画的配車 ・ <u>フェリー利用</u> によるドライバーの拘束時間の削減	・輸送コストが更に上昇した場合、近距離への出荷などの見直しの検討が必要 ・ <u>パレット化</u> に伴う施設の改修が必要	・補助事業の活用を検討中。
R6.4.26	宮崎県	生産者団体等	青果物全般	○物流状況：特に問題は生じていない ○積込方法：バラ積み（パレット化検討中） ○出荷スケジュール：前日集荷、一晩予冷保管⇒集荷翌日午前出荷 ○物流効率化の取組状況： ・運送会社の共同運送による積載率の向上 ・運送会社への出荷情報の事前提供による計画的配車 ・ <u>フェリー利用</u> によるドライバーの拘束時間の削減	・ <u>パレット化</u> に伴う積載率の低下 ・ <u>パレット化</u> による段ボール形態の見直し、選果ラインの改修が必要 ・集荷場での青果物の鮮度維持に必要な予冷库の不足 ・鉄道輸送は、自然災害などの影響を受けやすいこと、発電機付冷蔵コンテナが不足していることが課題	—
R6.4.30	鹿児島県	生産者団体等	青果物全般	○物流状況：特に問題は生じていないが、最近トラックが確保できず、積み残す事例が稀に発生（鮮度重視の出荷順変更により影響は回避） ○積込方法：バラ積み（パレット化検討中） ○出荷スケジュール：前日集荷、一晩予冷保管⇒集荷翌日出荷 ○物流効率化の取組状況： ・ <u>フェリー利用</u> によるドライバーの拘束時間削減 ・運送会社への出荷情報の事前提供による計画的配車 ・小ロット品目の産地拠点施設での集積による輸送により積載率の向上	・新規の <u>フェリー</u> の枠の確保が困難 ・ <u>パレット化</u> による段ボール形態の見直し、選果ラインの改修が必要 ・ <u>パレット</u> の保管場所の確保	—

拠点名:沖縄総合事務局

<ヒアリング2 か所>

日付	都道府県	情報収集した 相手先	品目	4月以降の物流の状況	生じている課題	左記の対応策等
4月12日	沖縄県	生産者団体等	青果 花き	・今のところ、3月までの物流の状況から特に変化なし。 ・県外への出荷に係る空路・海路による輸送で、到着遅延等の影響が出ることを懸念していたが、今のところ影響は出ていない。	●積載効率の向上 ●長距離輸送（鮮度維持）	●花きにおいて、草丈の長さを短くすることで箱のサイズを小型化し積載効率を向上。 ●トラックドライバーの労働時間の上限規制により一日当たりの輸送距離が短くなるため、効率的な運送ルートを選定するための体制構築及びストックポイントの必要性の検討等。
4月16日	沖縄県	生産者団体等	花き	・今のところ、3月までの物流の状況から特に変化なし。 ・県外への出荷に係る空路・海路による輸送で、到着遅延等の影響が出ることを懸念していたが、今のところ影響は出ていない。	●積載効率の向上 ●長距離輸送（鮮度維持）	●草丈の長さを短縮することで出荷箱サイズを小型化し積載率を向上。 ●予約販売を増やす事により、積載量が計算できる事から、効率的な積載が可能となる。 ●品質保持資材を導入したことで、長距離輸送での鮮度維持が可能となった。 ●鮮度維持期間が長くなったことにより、空路からロットの大きい海路輸送へのシフトが進んだ。